

第1学年算数科学習指導案

貴志川町立西貴志小学校 宇田智津

単元名 たすのかな ひくのかな (全体時間5時間)

コンテンツ名 「のこりはいくつ」(S02.mpg)

第1学年 実施時期 2学期11月

単元目標

- 【関心・意欲・態度】・進んで、たし算になるかひき算になるかを考えようしたり、ある数量を他の数量を置き換えて考えようしたりする。
- 【数学的な考え方】・数量の関係に着目して加減の用いられる場面を判断したりある数量を他の数量に置き換えて考えることができる。
- 【表現・処理】・ある数量をほかの数量に置き換えて考えるために、図を活用することができる。
- 【知識・理解】・たし算やひき算の意味の理解を深めることができる。

本時の目標と展開(全4時間 本時はその2時間目)

内容	目標
・たしざんの問題作り (1)	・数量の関係に着目して、たし算の用いられる場面を判断することができる。 ・たし算の問いかけの文を場面に応じて使い分けることができる。
・ひきざんの問題作り (本時)	・数量の関係に着目して、ひき算の用いられる場面を判断することができる。 ・ひき算の問いかけの文を場面に応じて使い分けることができる。
・加減の演算決定問題 (1)	・たし算やひき算の場面をとらえて、たし算やひき算の演算決定をすることができる。
・ある数量をほかの数量に置き換えて演算決定していく問題(1)	・ある数量をほかの数量に置き換えて問題を解くことができる。

学 習 活 動

(1) デジタルコンテンツを見て、問題を作る。

T「画面を見て、お話づくりをしましょう。」(音なし 4秒)

S「木にりんごがなっている。」

S「りんごが5個ある。」

T「続きを見て、お話を考えましょう。」(音なし 18秒)

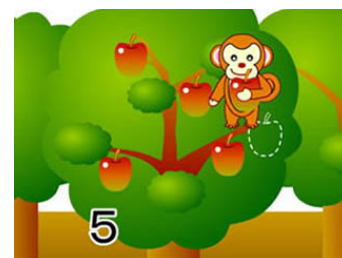
S「サルが来た。」

S「サルがりんごを3個とっていった。」

T「問題を作るには、どのような言葉が必要ですか。」

S「残りは何個でしょう。」

T「今度は(ちがいはいくつの絵を見せて)この絵を見てお話を作りましょう。」



S「りんごが10個ある。」

S「みかんが6個ある。」

S「りんごのほうが4個多い。」

T「お話の続きはどうすればいいかな。」

S「ちがいはいくつでしょう。」

- デジタルコンテンツを順に止めながら見ることで、順序立てて場面を把握させるようにする。
- 画面を見て、問いかけの文章の違い(求残と求差)に気付かせる。

(2) 絵を見て「 $12-5$ 」の式になるひき算の文章問題を作る。

T「今度は絵を見ましょう。絵を見てどんなことがわかりますか。」

T「数の数え方はどのようにいいますか。」

- 数え方の単位に着目させる。
- 絵を見て、絵の動きにも着目させる。

S「はとが全部で12わいます。そのうち5わはとが飛んでいきました。」

T「続きはどうすればいいですか。」

S「はとは何羽になったでしょう。」

T「はと以外に、絵を見て『 $12-5$ 』になるひき算の問題をつくりましょう。」

T「自分の作った問題の式が「 $12-5$ 」になっているのか確かめましょう。」

- 『のこりは』と『ちがいは』の言葉が的確に使い分けられるようにする。
- 途中で行き詰まった場合は、「デジタルコンテンツを見ながら作った問題文」と「絵を見て自分で作った問題文」とを比較させる。

(3) 作った問題を発表し、みんなで考える。

T「問題を聞いて「 $12-5$ 」になるのか考えましょう。」

S「子どもが12人います。男の子は5人います。女の子は何人でしょう。」

T「ひき算の問いかけはありますか。」

S「あってます。」

- 文章と式を対応させて確かめさせる。
- $12-5$ の式に表すことができるか考えさせる。

(4) 本時のまとめをする。

コンテンツについて

大日本図書 算数数学の思考過程をイメージ化する動画素材集より

のこりはいくつ http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_01/es_01_1.htm#02